平成 25 年度　産業フェアしずおか 2013 実施報告

日　　時	平成 25 年 11 月 30 日（土）～平成 25 年 12 月 1 日（日）		
場　　所	静岡市駿河区　ツインメッセ静岡　南館林業ゾーン内		
体験参加者	11 月 30 日　151 人	ミニクリスマスツリー	81 人
		木の名札作り	18 人
		木のコマづくり	44 人
		じゅず玉ブレスレット	8 人
	12 月 1 日　156 人	ミニクリスマスツリー	110 人
		木の名札作り	26 人
		木のコマづくり	20 人
	合計　307 人		

担　当　者	ミニクリスマスツリー	内野、早川、杉山、
	木の名札作り	井上、高橋
	木のコマづくり	藤田（久）
	じゅず玉ブレスレット	小嶋
	受付	越智
	サポート会員	大石、中川、早川、増田、矢下、青野

実施概要

晴天に恵まれた 2 日間、当ＮＰＯ森林インストラクターしずおかのネイチャークラフトコーナーは子供たちにとって人気のスポットである。初日から親子連れの方々が多数訪れて、様々なクラフトを体験していった。

・ミニクリスマスツリー

受付のテーブルに置かれたミニクリスマスツリーの見本を見て「かわいー！」「きれい！」と歓声。早速、ツリーづくりが始まる。今回のミニクリスマスツリーの材料は、自然素材としてテーダマツ、ムクロジ、モミジバフウ、クロガネモチなど、また華やかさを増すためにフリルリボン、ビーズ、スライス棒、細い皮ひも、パスタなど。子供は勿論お母さん、お父さんも一生懸命オンリーワンの作品を目指して奮闘。さすが、子どもの発想は素晴らしく提供された材料を見事に組み合わせ、思いもつかない飾りつけをやってのける。発想の柔らかさに感心しきりであった。まさに子供は感性豊かなネイチャークラフトの先生である。

今回は、参加者の 9 割が女子であったが、多くの方々に参加していただいたことが何よりである。子供たちは、完成した作品を「自分の机の上に飾るんだ。」と言って大事そ

うに、そして満足げに持ち帰って行った。その後ろ姿にありがとうと声をかけた。自然に興味を持ち、自然と人に思いやりのある人間に育ってほしいと願いを込めて・・・・。

・木の名札づくり

名札の材料は、担当の二人が普段から集めていたものを鋸で挽き、サンダーをかけたものです。木を直角に横断した丸形と、斜めに挽いた楕円形のものを用意しました。

参加者は準備したイラストから図案を選び、これとサイズの合った円盤にカーボン紙で写し、バーニング・ペンでイラストを描きます。ほとんどの人はこれに名前を書き、日付や場所を書き加える人もいました。中にはイラストを使わず、自分で絵を描く人もいました。

参加者の多くは小学生でしたが、大人も結構参加していました。

子どもが多く、バーニング・ペンを使うので心配でしたが、事故がなく終わり、良かったです。三，四歳の子が自分で絵を描いてバーニング・ペンを使うときは、とても心配でしたが、終わった時はホッとしました。

装着は、ピン留めと紐を用意しましたが、穴を開けて首などに掛ける紐の希望が圧倒的に多かったです。今回は錐を使いましたが、ドリルを準備した方がよいようです。

使われたイラストは、子どもさんの多くは動物（昆虫を含む）でした。

・木のコマづくり

木のコマづくりの材料は、市販の米ヒバ丸棒（太さ４㎝）を厚さ 1.5 ㎝で輪切りし、中心に 6.2 ㎜の穴をあけ、市販のヒノキ丸棒（太さ６㎜）を長さ４～５㎝に切って芯棒にします。

このコマにマーカーで好きな色を塗って仕上げてもらいます。

タイムトライアルは、3 回練習をし、本番 3 回で一番よいタイムを採用、ということでやりましたが、うまく回らない子には、「納得いくまでやろう」と激励し、10 回くらい挑戦する子もいました。

最高齢者は８６歳のおばあさんで記録は 12 秒、最年少者は 2 歳の男の子で 2 秒、最高記録は小学３年生の男の子で４０秒でした。

・じゅず玉ブレスレットづくり

昨年と同様にジュズダマブレスレット作りを行ったが参加者８名と大変低調であった。次回行う場合は一工夫が必要だと感じた。それでも、参加した子供達にはジュズダマやビーズの穴に糸(テグス)を通すことで集中力や根気が養われれば良いなー・・・と思いつつ見守りました。

会場風景　　　　　　　　　　　　　じゅず玉ブレスレット

ミニクリスマスツリー

木の名札作り

木のコマづくりとタイムトライアル